

ライフサイクルと福祉心理学

科目コード

FF2522



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
1	S(講義)	1年以上	渡部 純夫

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2021年度は開講しません（次回開講予定は2022年度）。

※オンデマンド・スクーリングは毎年開講予定です。

■スクーリング受講にあたっての留意事項

事前に「福祉心理学」のスクーリングを受講するか、またはレポートを提出してから受講されることをお奨めします。

■スクーリングで学んでほしいこと

人間は、生まれてから死ぬまでのライフサイクルにおいて、家族の変容に伴い様々な悩みや問題と遭遇していきます。問題の意味を自己成長というキーワードをもとに考えつつ、その対応をどうしていくのがよいかについて、福祉心理学の視点から掘り下げていきます。自分自身の生き様や家族のことを考えながら学んでいただきたいと思います。。

■到達目標

- 1) エリクソン心理社会的発達 の 8 段階が正確に説明できる。
- 2) 家族関係の変化に伴って起こる問題や課題を、具体的に解説できる。
- 3) 家族関係の変化に伴って起こる問題や課題に、「福祉心理学」がどのように貢献できるか説明できる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	家族における発達の視点からの人格形成を理解する	エリクソンの心理社会的発達の8段階の特徴と意味について発達プロセスの時間軸をもとに学ぶ。
2	家族と福祉を結ぶもの	家族の中で起こる問題のメカニズムと、なぜ福祉的援助が必要かについて学ぶ。
3	親子関係に見る問題と福祉心理学的アプローチ	親子関係における問題や課題に対して、福祉心理学的アプローチをどう行うかを学ぶ。
4	夫婦関係に見る問題と福祉心理学的アプローチ	夫婦関係における問題や課題に対して、福祉心理学的アプローチをどう行うかを学ぶ。
5	兄弟姉妹関係に見る問題と福祉心理学的アプローチ	兄弟姉妹関係における問題や課題に対して、福祉心理学的アプローチをどう行うかを学ぶ。
6	乳幼児の問題と福祉心理学的アプローチ	虐待や児童の福祉について学ぶ

回数	テーマ	内容
7	児童の問題と福祉心理学的アプローチ	いじめ・不登校などの問題について学ぶ。
8	思春期・青年期の問題と福祉心理学的アプローチ	自立と大人になることなどの問題について学ぶ
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

重要な点は板書しますが、口頭にて説明を行っていきます。

自分で大事だと思われる点はノートにまとめてください。

可能であればロールプレイを入れます。

■スクーリング 評価基準

スクーリング試験100%（ノートのみ持込可）。試験では、特に到達目標記載内容についての理解を問います。

■スクーリング時の教科書

佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行編著『福祉心理学総説』田研出版、2011年

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書第3章、第4章、第5章、第10章を読んできてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

講義内容からさらに深く学びたいと思ったことに対して、調べてみてください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」、「共感と自己尊重に基づくコミュニケーション力」、「集団理解に基づく対人調整力」を身につけてほしい。

■参考図書

小松紘・木村進・渡部純夫・皆川州正編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学（改訂版）』八千代出版、2019年

中山哲志・稲谷ふみ枝・深谷昌志編『福祉心理学の世界』ナカニシヤ出版、2018年

今城周造編著『福祉の時代の心理学』ぎょうせい、2014年

石隅利紀・藤生英行・田中輝美編『生涯発達の中のカウンセリングⅡ 子どもと学校を援助するカウンセリング』サイエンス社、2013年

小俣和義編著『こころのケアの基本』北樹出版、2013年